

感染症等の対策に関する留意事項について

1 全競技共通事項

- (1) 生徒の参加については、参加同意書を提出すること。
- (2) 気温が高い中での大会であること及び運動不足が考えられるため、突発的な傷病等に十分留意すること。熱中症予防のため、こまめな水分補給をすること。
- (3) 生徒に発熱など風邪の症状が見られる時は参加を見合わせ、自宅で休養させること。
- (4) 会場内に入る生徒（競技中以外）・競技役員・補助員・引率者・観客等は、必ずマスクを装着すること。また、人との距離をできるだけ2m保つこと。
- (5) 会場の各所に液体石鹸や手指消毒用液を備えているので、こまめな手洗いや消毒をすること。
- (6) 同チーム内での飲料水等の回し飲みやタオルやコップ等の共用はしないこと。
- (7) 競技に使用する共用の用具（ボール等）については、専門部で消毒を行うが、チーム内の用具は各指導者が責任をもって消毒すること。

2 （陸上競技）競技における3密（密閉、密接、密集）の回避対策

《密閉》

- ・室内の競技会場、更衣室、控室等は、こまめな換気を行うので協力すること。
- ・更衣室や控室等は、利用時間や利用人数を制限する場合もあるので注意すること。
- ・更衣室の滞在は短時間にすること。（シャワールームの使用を禁止する）

《密接》

- ・近距離での会話や発声が必要な場合は飛沫を飛ばさないようマスクを装着すること。
- ・マスクを外さなければならない場合は、人との距離をできるだけ2m保つこと。
- ・競技中の味方同士でのハイタッチなどは避けること。
- ・大きな声を出しての応援、集団での応援を行わないこと。
- ・競技者に付き添う場合の競技者との接触、ソーシャルディスタンスを確保し、会話に注意すること。
- ・招集所や試技の順番を待っている時は、選手同士の会話は極力避け、待機中はマスクを着用すること。
- ・競技用具使用後は手洗い、または消毒液で消毒をすること。（消毒液は各競技場所に設置）
- ・競技中や移動、待機中につばや痰を吐かないこと。

《密集》

- ・競技役員、補助員等の座席、観客席は、できるだけ2mの距離を保つこと。
- ・会場内の人数を減らすために、試合の順序等により、会場への入場時間を定めているので注意すること。試合終了後は、速やかに次のチームと入れ替わること。
- ・会場内で人との接触を減らすために、選手、役員、観客等の導線を区分しているので注意すること。
- ・当該競技は複数の会場があり、観客席が設けられない会場もあるので注意すること。
- ・混雑を回避するため、競技者に付き添う者のウォームアップ場への立ち入りを禁止する。
- ・ウォーミングアップは個別に行うこと。ただし、リレーはメンバーのみで行うこと。
- ・観客同士が密な状態とならないよう観覧席は席を一つあけること。
- ・招集については、別紙資料を参照すること。
- ・招集所や選手控え場所では、できるだけ2mの間隔をあけて待機する。
- ・学校内、学校間の待機場所では、できるだけ2mの距離を保つこと。

3 感染症対策

- ・参加者は、大会1週間前からの検温を実施し、体調管理表に記載して顧問に提出すること。顧問は、専門部に報告、提出すること。（受付後、体調管理表は顧問に返却する）ただし、保護者の応援については、今後の日本陸連の競技会開催対応マニュアルにより、変更になることがある。
- ・こまめに石けんと流水の手洗いまたはアルコール手指消毒剤を用いた手指消毒を行い、手を清潔に保つこと

- ・マスクを着用し、咳をする際には、咳エチケットにより飛沫を飛ばさないようにすること。
- ・競技に使用した衣類は、直接床やイスなどに置かず、ビニール袋に入れ持ち帰ること。
- ・自分のゴミ、学校ごとのゴミはすべて持ち帰ること。
- ・ペーパータオルは準備しないので、必ずタオル等を準備すること。
- ・参加者は症状が4日以上続く場合は必ず最寄りの保健所、医師会、診療所等に報告し、顧問を通じて専門部に報告する。
- ・参加者とは、陸上部員、顧問、競技役員・審判、学校関係者（新聞部など）、保護者・家族をいう。

コロナ禍の中での競技会開催となります。大会主催者と参加者がともに協力をしていかなければ、競技会は開催運営ができません。その点を何卒ご理解・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。